

所 属	商工労働部 情報産業課		
担当(係)名	情報産業担当	内線	3112

「G I F U ・スマートフォン・プロジェクト」の展開

<緊急雇用創出事業臨時特例基金事業>

<ふるさと雇用再生特別基金事業>

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
479,595	一般財源 479,595	委託料 479,595
(前年度 40,866)		

2 背景・現状

i P h o n eに代表される高機能携帯電話（スマートフォン）市場は、A n d r o i d、W i n d o w s P h o n e等の登場によりさらに広がっており、スマートフォン向けアプリについても、その市場は世界規模で拡大しつつある。

また、スマートフォンアプリの開発と販売は、流通経路の開拓が不要であることから、中小企業、個人での参入が容易であり、地方における新たな成長産業として注目を集めている。一方で、アプリ開発者の不足が全国的に課題となっており、ソフトピアジャパンエリアにおける人材育成・輩出に期待が高まっている。

3 事業目的

「岐阜県版スマートフォンアプリ」の開発や、スマートフォン（iPhone、Android、WindowsPhone）アプリ開発人材の育成・輩出を通じ、ソフトピアジャパンエリアへのスマートフォン関連事業者の集積、地域IT企業の新規事業の参入促進を図るとともに、スマートフォンアプリ開発の一大拠点としての岐阜県・ソフトピアエリアのブランド化を推進する。

4 事業概要

これまでのG I F U ・ i P h o n eプロジェクトで蓄積してきたアプリ開発人材育成のノウハウや環境など、他地域にはない優位性を活かし、スマートフォン全体へその範囲を広げた岐阜県版アプリの開発と人材育成を行う。

あわせて、新たなビジネス機会の創出を目指し、企業間交流を促進する。

(1) 岐阜県版スマートフォンアプリ開発及びアプリ開発人材の育成（428,364）

<緊急雇用創出事業臨時特例基金事業>

- ・岐阜県の観光、物品販売等のほか、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会のPR等にも寄与する「岐阜県版i P h o n eアプリ」及び「岐阜県版A n d r o i dアプリ」を開発、公開
- ・高度な開発技術を持つi P h o n eアプリ開発者を育成するほか、情報家電、組込OS等、製造業分野への活用が注目されるA n d r o i dを中心に、W i n d o w s P h o n eも視野に入れた幅広い人材の育成を推進

※上記事業により、100人規模を雇用のうえ育成

(2) i P h o n e塾、モバイルカフェ、i ・ L a b oによる企業間交流の促進

(51,231) <ふるさと雇用再生特別基金事業>

- ・アプリ開発講座「iPhone塾」を開催し、高度な開発スキルを持った人材の育成と企業のアプリ開発を支援
- ・異業種・異分野の情報交換会「モバイルカフェ」を開催し、新たなビジネス機会の創出と企業間連携を促進
- ・モノづくりとデザインの勉強会「i ・ L a b o」を開催し、モノづくり産業の新規事業展開と商品付加価値の向上を支援

※上記事業により、7人の新たな雇用を創出

(款) 5 労働費	(項) 1 労政費	(目) (3) 雇用促進費
(明細書事業名) ○緊急雇用特別対策費		
		委託事業費